

DESCARTES

「Ocean ACE」は
The Descartes

Systems Group Inc. (Descartes社) が提供するACE (旧AMS) マニフェストファイリングソリューションです。

オシャンコマースは2002年からDescartes社 (FCS社) の日本代理店としてACE接続サービスの日本に

おけるマーケティング、トレーニング、サポート業務を展開し、ACE自社ファイリングをお手伝いしています。すでに20数社を超える導入実績があります。

The Descartes Systems Group Inc.

81年創業のNASDAQとトロント証券取引所の上場企業で貿易と運輸に関わるロジスティクスシステムに特化した世界最大のIT企業。2015年1月期の収益は1.71億米ドル。本社はカナダ・オンタリオ州ウォーターロー。

ISF導入AMSでかわる昨今の「ACE事情」

2010年1月26日より **ISF(「10+2」ルール)** が本格的に導入されました。これにより、従来、マニフェストデータを船社に丸投げしていたNVOCCは自社送信の必要に迫られています。

ISFではACE上のLowest LevelのB/L番号に対して申告します。つまりHouse B/L番号レベルでも両者のマッチングが要求されます。NVOCCの方々がACE申告を船社に依頼すると、船社は通常、自社のルールに基づき**NVOCCのHouse B/L番号を別の番号にかえてACE送信**します。この場合、**House B/L番号をそのまま使用するとその番号のHouse B/LはACE上に存在しないため、ISF申告ができません**。これが米国側Importerの信用を失ひ、ひいてはShipperのnon-automated NVOCC離れとなります。つまり、これまでのように「ACE申告は船社に丸投げ」というやり方を続けていると**NVOCCとしての競争力を維持できません**。なるべく早くACEファイラーになることをお勧めします。

また、船社によっては、貨物の受け手側 (米国) または積地側 (日本) のどちらか一方のNVOがAuto Filerである場合、貨物の丸投げ (船社によるデータ送信代行) は受け付けませんので、日本のNVOも早急に自社ファイリングのステータスを取得する必要があります。

「Ocean ACE」導入のメリット

①貴社独自のHouse B/L番号を使用したISFファイリングが可能です。

②自社貨物のACE/ISF上の最新ステータスをいつでも自分で確認できます。

③大幅なコスト削減が可能です。

④貴社の宝である顧客情報が競争相手となる船社や共同混載するNVO他社に開示されません。

⑤船社都合に左右されず、いつでも入力、訂正、削除できます。

「Ocean ACE」の特徴

①ご利用にあたって特別なネットワーク環境、ハード、ソフトを必要とせず、インターネットに接続されたパソコンがあればOKです。

②データの入力と編集、米税関国境警備局 (CBP) への送信はわかり易いウェブインターフェースを利用して行います (EDIによるデータ送信も可能)。ファイリング用アカウントはユーザー名とパスワードで保護され、通信はSSL (Secure Socket Layer) を通して行われるため、通信中のデータの遺漏、改ざんがありません。

③ここでご紹介したOcean ACE以外に、Air ACE (航空貨物ACE)、カナダ版24時間前ルールであるACI、EU版24時間ルールのICSのサービスもあります。また、ISF (10+2ルール) にはDescartes ISFというソリューションが用意されており、幅広いニーズに対応できます。

④SCACコードの取得、ボンドの供託方法、CBPへの申請から日々の入力、送信業務まで、ご不明の点はオシャンコマースがサポートしますので、最小の労力とコストでCBPが要求する電子ファイル送信業務を実行できる環境が整っています。